



とうごうじゅんびいいんかい 統合準備委員会たより



だいごう へいせい ねん がつ がつ ほうこう
第3号 平成29年12月発行
ささがわひがししょうがっこう ささがわにししょうがっこう
笹川東小学校・笹川西小学校
とうごうじゅんびいいんかい
統合準備委員会

へいせい ねん がつ にち すい だい かいとうごうじゅんびいいんかい おこな あたり がっこう こうめいあん けつてい
平成29年11月22日(水)に第3回統合準備委員会を行いました。新しい学校の校名案を決定したほか、校歌や校章、通学路の安全対策、新しい学校の施設整備などについて話し合いました。

しんこうめい ささがわしょうがっこう 新校名は「笹川小学校」!

ささがわひがししょう ささがわにししょう じどう とうひょう けつか 10ある校名候補のうち、「笹川小学校」が最も多くの票を集めました。この結果を受けて、新校名は「笹川小学校」となりました。歴史とともに地域の方に愛されている「笹川」の名前。裏面には「笹川」の由来や歴史などを紹介しています。新生「笹川小学校」の開校に向けて、準備を進めていきます。

ちいき みりょく こうか さくせい 地域の魅力あふれた校歌を作成します

こうか には、「ふれあい」「国際」など「笹川」のよさや特長を表す言葉を入れたい、英語やカタカナの歌詞を入れてはどうか、テンポがある曲調がよいなど、多くの意見が出されました。これをふまえて、次回の会議で校歌のコンセプトを提案します。なお、歌詞は、地域や学校の思いを伝えて、専門家に作成してもらう予定です。

こうしょう にしさがわちゅう 校章は西笹川中のデザインをもとに

あたり こうしょう 「ささがわしょう」と西笹川中のつながりを表すために、西笹川中の校章と共通するデザインがいい」との提案がありました。次回、西笹川中の校章デザインをもとにして、具体的に検討する予定です。

(参考：西笹川中の校章)



つうがくろ あんぜんたいさく 通学路の安全対策

がっ にち つうがくろ てんけん おこな どうごうじゅんびいいん みほみけいさつしよ きょういくいんかい し どうろかんけいぶきよく
11月13日に通学路の点検を行い、統合準備委員と南警察署、教育委員会、市の道路関係部局が集まって、中央通りの横断や歩行者の安全について確認しました。

この点検報告を受けて

- ・信号のある横断歩道を使って中央通りを横断する場合、周辺道路の歩道の整備なども含めて、どのような安全対策が可能か、具体的な検討に入りました。
- ・歩道橋等の設置についても、引き続き関係部局と検討していきます。



しせつ せいび 施設の整備

かいこうじ こどもたちが気持ちよく通える環境となるよう、検討が進められています。

<主な検討内容>

- ・北校舎・中校舎トイレの改装・洋式化
- ・昇降口の再塗装や備品の入れ替え
- ・食数増加に対応するための給食室の改修
- ・プレハブ棟の撤去や収納物の移動 など

ささがわひがししょうがっこう ささがわにししょうがっこうとうごうじゅんびいいんかい
◇第4回笹川東小学校・笹川西小学校統合準備委員会

【日時】平成30年1月25日(木) 19時～

【会場】四郷地区市民センター2階ホール

※傍聴できます

【お問い合わせ】四日市市教育委員会教育総務課
政策グループ 電話354-8237

ささがわしょうがっこう こ おも

「笹川小学校」に込められた思い



校名は「笹川小学校」に決定しましたが、その他の候補から、笹川地区の子どもたちが小学校に抱いているイメージが浮かびあがります。

「笹川ひかり小学校」「笹川ふれあい小学校」「笹川ひなた小学校」「笹川森小学校」・・明るさ、人とのふれあいのあたたかさ、自然にあふれた学校というイメージです。

また、統合準備委員会では次のような意見も出されました。

- ・外国の子どもが「僕たちは外国人でなく、笹川っ子だ」と言うのを聞いたことがある。「笹川っ子」という言葉が浸透している。
- ・笹川といえば、外国の人との共生が進んでいる。学校でも「みんな仲がいい」という評判である。

「笹川」という名前には、明るさ、あたたかさだけでなく、やさしさのイメージも加わっています。「笹川」に込められた様々な思いをのせて、平成31年4月、「笹川小学校」は開校を迎えます。

笹川の由来
 四郷地区を流れる天白川は、昔から「笹の生える川」「笹の川原」「笹の川」と呼ばれており、そこから「笹川」という地名が生まれたといわれています。昭和49年の集中豪雨によって以前の天白川の姿とは変わってしまいましたが、昔から桜の名所として有名で、地域の誇りです。



笹川地区の誕生

急速なコンビナート工場の発展に伴う住宅を確保するため、昭和43年8月に笹川団地が誕生しました。その後、昭和45年に自治会が発足し、地区協議会や子ども会などが結成され、笹川地区のための活動が行われてきました。

現在では、グローバル化が進み、笹川地区には約1,500人の外国人市民が生活しています。様々な言葉、文化の人々が共生しているところも笹川地区の魅力です。学校でもその魅力を活かした教育が行われています。

